

「三浦市こども計画」についてのパブリックコメントの結果公表

- 1 意見等の募集期間 令和6年12月25日（水）から令和7年1月23日（木）まで
- 2 意見等の受付件数 4人 10件
- 3 意見等の概要とそれに対する市の考え A：0件 B：2件 C：7件 D：1件
- A：計画を修正する B：計画に意見の内容が含まれている C：計画を推進する上での参考とする D：その他

No.	項目	意見等の概要	市の考え方	対応
1	計画全般	日本全体の人口も減っている中で、こども関連施策など充実させて人口と共に子供が増えている自治体もあり（例印西市、流山市、明石市など）、こどもや子育て世代を増やす政策を懸命にやっておられることはありがたいが、現在三浦市に住んでいるこども、子育て世代が他自治体へ転居していくことのないような魅力的な政策・計画をお願いしたい。	計画の策定にあたっては、計画書 41 頁～42 頁「第 2 章 三浦市の現状と課題 4 こどもを取り巻く課題」に記載のとおり、こどもの人口の減少や出生率の低下等の現状を踏まえ、本市の課題を整理し、課題に添った目標と施策を検討しました。頂いたご意見を踏まえ、着実に計画を推進して参ります。	B
2	計画全般	アンケートの結果からも、こどもとの関わり方や発育や健康にも悩みや不安を感じている割合が高くなっている。コロナ禍から極端に人同士の関わりが減り、子供同士、子育て世代のコミュニティも減少し、こどもも親も悩みや困りごとの解消ができにくくなっているのではないかな。 いじめ認知件数も増加している。いじめ問題は子だけではなく、親自身にも影響し、広範囲にストレスをもたらす。心の健康面で問題が生じた結果が、不登校や引きこもり、精神疾患につながり、学校の先生にも負担が増え、退職や休職の一因になっているのではないかな。 こどもも養育する親も子供の教育に欠かせない先生方も守ることが出来る施策・計画をお願いしたい。	頂いたご意見の趣旨につきましては、計画書 47 頁「第 4 章 施策の展開 1（2） ライフステージを通じた相談体制の充実」や計画書 63 頁「第 4 章 施策の展開 2 【学童期・思春期】（4） いじめ・不登校への対応」に記載のとおり、寄り添った支援を行う相談機関の設置運営とともに、いじめのない地域づくりを目指す取組について盛り込んでいます。 頂いたご意見を踏まえ、着実に計画を推進して参ります。	B
3	計画全般	小中学校の設備にも多くの問題点がある。老朽化してお世辞にも綺麗とはいえない場所にこども達は通いたいと思うか。アンケート結果にもある通り、こどもにとっても子育て世代にとっても良い方向へ向かっているとは思えない。こどもへの投資は将来の三浦市への投資として好循環が生まれるような計画	学校の設備やアンケート結果につきましては、本市の課題として認識し、頂いたご意見を踏まえ、計画の推進にあたり、今後の参考とさせていただきます。	C

		をお願いしたい。		
4	各施策	・横須賀に近い立地を生かした英語教育（多国語）の充実を三浦市独自の政策としてアピール（群馬県くまがね英語村参考） ・（場所は）廃校を利用・潮風アリーナ・新設市民センターの有効利用 ・人材は横須賀基地や周辺他。市民との交流や友好関係の旗印があれば交渉する価値はある。小学校の ALT 活用には規制がありすぎて児童の英語教育にそれほど役立っていない現状。高い塾や私立校にいかなくても語学が学べる特色のある市になればかなりアピール度は高い。空いている場所は沢山ある。	頂いたご意見につきましては、計画書 59 頁～63 頁「第 4 章 施策の展開 2 【学童期・思春期】（1）次代の親となるこどもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備」に盛り込んでいる施策を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。	C
5	各施策	三浦市のこどもの学力が心配。保護者のアンケート結果でも「学習面」への心配の割合も高い。不登校の増加からまずは「学校にくること」に主眼を置いている政策も理解できるが、高校、大学等での格差を感じることで、自己肯定感の低下により自身を失い、不登校や退学、未来に希望を持てなくなるなどの可能性も考慮すべき。	頂いたご意見につきましては、計画書 59 頁～63 頁「第 4 章 施策の展開 2 【学童期・思春期】（1）次代の親となるこどもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備」に盛り込んでいる施策を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。	C
6	各施策	市内のある小中学校に通っている子供たちから、校舎や体育館のトイレを綺麗にしてほしいという意見があった。一部のトイレが非常に臭いという意見があった。	トイレ等の個別の学校設備の修繕等につきましては、随時対応しており、具体的な内容を本計画には盛り込んでおりませんが、計画書 59 頁～63 頁「第 4 章 施策の展開 2 【学童期・思春期】（1）次代の親となるこどもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備」に盛り込んでいる施策を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。	C
7	その他	移住者を増やすための施策に力を入れて欲しい。移住者を増やしたい他の自治体では、移住者に 500 万円を支給しているところや、ふるさと納税で町の特産物を全住民に配布している町などもあり、メディアに取り上げてもらえるくらいインパクトのある施策でないと、三浦市の良さは伝わらないのではないかな。 移住者が増えれば、税収も増えて、もっと市民のためにできることが増える。	頂いたご意見の趣旨につきましては、計画書 41 頁～42 頁「第 2 章 三浦市の現状と課題 4 こどもを取り巻く課題」に記載のとおり、本市の課題として認識しているこどもの人口減少と関連するご意見と捉え、計画を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。	C

8	その他	資格を持った高齢者、リタイアしたプロ、IT、農家、漁業、自営業、陶芸家、音楽家、料理人、大工、等々の元気な高齢者等による支援で社会人として使える人材を作れる三浦市。移住の子供も住んでいる子どもも高い授業料を払わず身につく学習に特化した三浦市。また、三浦市出身のプロたちもいる。縦横繋がる三浦市に出来る事は多い。 不登校児や障害児も増えている現在、行く場所は小さい、遠い、将来も不安。廃校やセンター利用で「働ける社会人」を育てる三浦市。体験を越えた「生きる力」を高齢者にも子供にも与えられるシステムづくり。お金の支援はその場限り。元気な高齢者にも生きがいを与え、子どもの多様で高度な学習で社会人として活躍できる教育に特化した三浦市づくり期待したい。	頂いたご意見につきましては、計画書 59 頁～63 頁「第 4 章 施策の展開 2 【学童期・思春期】(1) 次代の親となるこどもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備」及び計画書 66 頁～67 頁「第 4 章 施策の展開 3 (2) 家庭や地域の子育て力の向上」に盛り込んでいる施策を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。	C
9	その他	(パブリックコメントに関し) 意見を集めるだけでなく、有識者などを集めて、少人数のディスカッションをしてみてもどうか。三浦市をもっと良くしたいと考えている人は沢山いる。少しずつ三浦の良さを出していけば良い。頑張ってもらいたい。	本計画の策定にあたっては、「三浦市子ども・子育て会議」や「三浦市こどもまんなか市民会議」などにおいて意見交換を行っております。頂いたご意見を踏まえ、これらの取組を継続して推進するとともに、計画を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。	C
10	その他	(パブリックコメントに関し) 膨大な資料を読み込み、忙しい年末年始の時期に意見を集めるというのは、いろいろな人の負担になるのではないかと。 また、資料のボリュームが多いため、PC が無い人は小さな携帯で資料を読むことになり、かなり効率が悪いと感じる。 誰でも欲しい情報にすぐアクセスできるよう、テーマ毎に資料を分ける工夫だったり、総括として簡潔にまとめてある資料があってもよいのではないかと。	頂いたご意見につきましては、より多くの方にとって読みやすい資料となるよう、今後の計画策定の際の参考にさせていただきます。 なお、本計画の概要版につきましては、令和 7 年度に策定の予定です。	D